

国分寺市社会福祉だより
2017年11月15日 第214号



COUNCIL OF SOCIAL WELFARE KOKUBUNJI

新たなスタートを歩み出す国分寺市社協が、地域の皆さんに親しみをもつていただけるようなマスコットキャラクターを募集します!

平成30年度に国分寺市社会福祉協議会は法人化50周年を迎えます!

それを記念して

マスコットキャラクターを募集します!



応募用紙イメージ

- 1. キャラクター名
- 2. キャラクターの説明
- 3. 応募者の氏名(ふりがな)
- 4. 住所
- 5. 年齢
- 6. 電話番号
- 7. 国分寺との関わり

賞金 **最優秀賞 1点 50,000円**
優秀賞 5点 5,000円 *共に税込み

応募期間 **11月15日(水)~12月15日(金)**

応募資格 **市内在住、在勤、在学者および国分寺市に愛着のある方**
※ グループ、個人、プロ、アマ、年齢等は問いません。
 1人/1グループで複数案の応募も可能です。

イメージ **「支えあい」「ふれあい」「国分寺」をイメージさせる親しみやすいデザイン**
※未発表のオリジナル作品に限ります。

- 1. 応募方法 郵送、持参、電子メールのいずれかでご応募ください。
【郵送、持参の場合】 応募用紙1枚につき、作品1点を描き、封筒に入れてご応募ください。
 【電子メールの場合】 件名を「国分寺市社協マスコットキャラクター応募」とし、応募用紙を添付してお送りください。添付ファイルの形式はJPEGかPDFとします。作品はメール1通につき応募作品1点としてください。
- 2. 作画方法 自由(着色してください)。着ぐるみなどを想定した立体的なイメージで作成してください。
- 3. 応募先・お問合わせ 社会福祉法人国分寺市社会福祉協議会「マスコットキャラクターデザイン募集担当」
 〒185-0003 国分寺市戸倉4-14国分寺市立福祉センター内
 電話:042-324-8311 Email: info@ko-shakyo.or.jp

詳しくは募集要項(ホームページおよび国分寺市社協事務局窓口にて配架)をご覧ください。ご応募お待ちしております。

今年も始まります!
**歳末たすけあい
地域福祉活動募金**
12月1日(金)~31日(日)



このポスターは、国分寺市障害者センター「太陽」の利用者さんの作品を使用させていただきました。

※内容について詳しくは2Pをご覧ください。



「太陽」の絵画の時間

- 主 催：社会福祉法人 東京都共同募金会
- 実施主体：社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会
- 後 援：国分寺市

万葉植物園だより

ふちばかま(和名:ふじばかま)

やまのうえのおくら
 山上億良が秋の野の花(七草)について詠んだ「秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種の花」に続く歌です。芽子は萩(はぎ)、尾花は薄(すすき)、葛花は葛の花(くずの花)、朝貌は今の朝顔ではなく、桔梗(きぎょう)(諸説あり)とされています。
 「春の七草」は「七草がゆ」等にして食を楽しむものですが、「秋の七草」は見ることを楽しむものとして親しまれています。

芽子(ほし)の花尾(お)花尾(お)花尾(お)
 女郎(をみなえし)花(はな)ま(ま)た(た)瞿(なで)花(はな)
 朝(あさ)貌(お)の(の)花(はな)花(はな)
 朝(あさ)貌(お)の(の)花(はな)花(はな)



「万葉植物園」は西元町の武蔵国分寺境内にあります。



平成29年度

歳末たすけあい・地域福祉活動募金

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

12月1日(金)～31日(日)

お寄せいただいた募金は、国分寺市の地域福祉活動に役立てられます。皆様からのあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

どんなことに使われるの？

平成28年度の募金は、平成29年度地域福祉活動費として社協が実施する下記の事業に活用されています。

- 国分寺ふくし交流支援事業(「社協ふくしのつどい」開催)
●ボランティア活動推進事業(ボランティアに関する講座等)
●ここねっと推進助成事業(日常活動費等)
●ひとり暮らし高齢者等地域交流会運営事業
●高齢者への支援事業(長寿のお祝い等)
●市民への地域福祉情報提供事業(「ふくし」の発行、ホームページの運営費等)

たとえば...

ここねっと推進助成

受配団体からのありがとうメッセージ(平成28年度助成成分)



Little Rabbits(立ち上げ費)

「閉じこもりがちな乳幼児親子を、少しでも外に出てリフレッシュさせてあげたい」そんな思いからこの団体を立ち上げました。助成金がなければその思いが実現するのは難しかったと思います。ありがとうございました。

※募金には税制上の優遇措置があります。
※募金は任意で強制ではありません。

たとえば...

ふくし体験プログラム

国分寺市内の各小学校等より依頼を受け、ふくし学習として車いすや高齢者疑似体験等を行っています。



赤い羽根共同募金との違いは？

どちらも東京都共同募金会が募金活動を行っていますが、大きな違いは使いみちです。
●「赤い羽根共同募金」は主に市内の民間の福祉施設・団体の事業へ配分されます。
●「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」は市内の地域福祉活動の支援等に役立てられます。

募金方法について

- 自治会・町内会を通じて
●市内の企業・商店会等の募金箱へ
●街頭募金で12月1日(金)午後4時～7時 国分寺駅
●社協窓口へ 祝日を除く月～金(午前9時～午後5時)

訃報

本会監事の寺嶋碩志様が、平成29年8月19日に急逝されました。享年75歳でした。寺嶋様は、本会の理事、評議員そして監事と長年国分寺市の地域福祉の推進ならびに本会の運営にご尽力いただき、去る6月22日に第27期監事として再選されたところでした。寺嶋様の生前のご功績に感謝申し上げますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

監事の補選について

寺嶋監事の急逝に伴い、第4回理事会(8月31日)ならびに臨時評議員会(10月13日)を開催し、監事の補選を行いました。新監事には、相談役で元民生委員・児童委員協議会会長の森田林三様を選出いたしましたので、ご報告いたします。

あたたかいご寄附ありがとうございます

—平成29年8月1日から平成29年9月30日まで—

Table with 2 columns: Donor Name and Amount. Includes International Cultural Beauty School, National Shrine, and others.



国際文化美容専門学校 国分寺校 様



国分寺稲門会 様

Advertisement for OASIS MANSHO, a food and loan service. Includes phone number 042-540-8166 and website info.

Advertisement for massage services. Features '訪問マッサージ' (home visits) and phone number 0800-111-0220.

自立生活サポートセンターこくぶんじ 受験生チャレンジ支援貸付事業

受験生チャレンジ支援貸付事業貸付金は、学習塾等の費用や高校・大学等の受験費用について貸付を行うことにより、一定所得以下の世帯の子どもへの支援を目的としています。

申請書提出最終締切日：平成30年1月26日(金)まで

貸付金詳細

Table with 4 columns: Content, Target, Scope, Limit. Details loan amounts for high school and university students.

Point 1: 中学3年生、高校3年生を対象に塾費用や受験料の貸付を無利子で行います!
Point 2: 高校、大学等に入学した場合、手続きすることで返済が免除されます!

Illustration of a woman and a man. Text: TEL: 042-324-8311. まずは受験生チャレンジ担当までお問合わせください!

平成29年度「社協会員会費」中間報告とお礼

10月23日現在：総額6,144,621円

会員会費の受付は年間を通して行っています。ぜひ、社協の会員(サポーター)になって、国分寺市の地域福祉活動の充実を応援してください！

※誌面の関係上すべての会員の皆様を掲載していません。

Table of donors for the association fee, including丸福商事, 有限会社英, etc.

Table of donors for the business/association fee, including 東京国分寺ロータリークラブ, etc.

Table of donors for the association fee, including 社会福祉法人けやきの社, etc.

プレゼント企画

①については市民の方のご厚意によりご提供いただいております。

Gift promotion details: ①シクラメンの鉢植え (3名様), ②社会福祉協議会 折りたたみエコバッグ (10名様).

応募方法

ハガキもしくはメール(info@ko-shakyo.or.jp)で①ご希望のプレゼント ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧今号で一番興味・関心を持った記事 ⑨誌面構成、内容など全体的な感想 ⑩今後読みたい記事をご記入の上、ご応募ください!

応募締切 11月30日(木)消印有効

*当選発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

〒185-0003 国分寺市戸倉4-14 国分寺市立福祉センター内 国分寺市社会福祉協議会「ふくし プレゼント係」まで

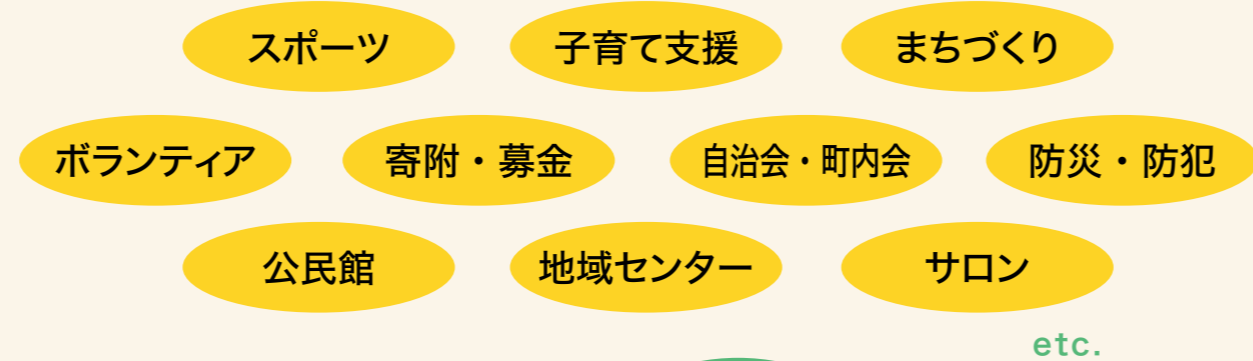
Advertisement for art and antique items. Phone number: 0120-72-6060. Location: 国立市 西2-31-18.

Advertisement for Tokyo Welfare Human Resources Center, Atsuta Branch. Includes location map, hours, and contact info.

始めませんか？ 地域デビュー

地域とのつながりをもっと持ちたいと思っても、実際には「何から始めれば良いのか分からない」、「やるからには責任を持ってやらないと、と思うと気が引けてしまう」...という方もいるはず。そんな方のために地域デビューの先輩お二人をご紹介します。それぞれの活動をはじめたきっかけや取組みの内容、やりがい等を聞きました。

つながりのカタチはいろいろ



各窓口とお問合わせ先

- ▶ 地域のボランティア情報や各種サロン等 → ボランティア活動センター
 - ▶ 援助会員として子育て支援 → ファミリー・サポート・センター
 - ▶ 市民後見人、生活支援員として → 権利擁護センター
 - ▶ 総合的な社会貢献について → 総務係
- 詳しくは、**社会福祉協議会**へお問合わせください TEL:042-324-8311

地域デビュー例

1

活動歴1年

生活支援員* 藤原 和彦さん(40歳)

2年前に地元国分寺市に戻られた自営業の藤原さん。時間調整が可能な平日の空き時間を利用して、少しずつ地域活動への参加を始めています。



1
きっかけ

- 地域や近所と繋がりたい
- 趣味や特技を活かして仲間を作りたい
- 経験や特技を活かして人の役に立ちたい

地域デビュー例

2

活動歴21年

オパール料理同好会代表 武藤 正美さん(82歳)

現在、ゴミ減量推進委員、防災関係、ここねっとナイン、地域支え合い活動(腕章)、援農ボランティア等地域で多岐にわたる活動をされています。



2
方法

- 広報誌やホームページを通じて
 - 誰かからの紹介で
 - ボランティアセンターを通じて

3
地域で活動する

- 仲間、居場所をつくる
- 達成感、充実感を感じる
- 地域で役割をもつ

4

地域とつながる
共に暮らす

1 きっかけは地域の支え合いを肌で感じたこと

もともとは国分寺市出身ですが、仕事の関係で一旦地元から離れた。その土地は地域の結びつきが強く、お互いが助け合うことが当たり前で、地域が地域を支えているということを肌で感じながら生活をしていました。そして2年前、子どもの小学校入学を機に国分寺市に戻ってきたのですが、生まれ育ったところで何か活動できたらという思いが生まれ、地域活動の第一歩につながりました。

2 活動は身近なところから

手始めにまず自治会への加入、PTA活動、青少年北地区委員会との関わり等、身近なところから関わりを持ち始めました。その頃知人から紹介されたのが、社協 権利擁護センターでの生活支援員*としての活動。これは専門員が作成した計画に基づいて支援を行う活動です。私は月1回利用者のお宅に訪問し、郵便物の確認や手続き等をサポートしています。それまでは正直、社協のことも、この活動のことも知りませんでした。自分から動かないとなかなか情報が入ってこないということを実感しました。

*生活支援員とは…権利擁護センターが行っている「地域福祉権利擁護事業」の担い手。認知症や知的・精神の障害等で日常生活に不安のある方のサポートを行います。資格は不要。研修に参加した後、活動します。

3 共に暮らしていることを実感できる

今まで、自分の住む地域を分かっていたようで知らなかったと感じています。地域を自分の目で見ること、人脈やネットワークも少しずつ広がり、生活圏が広がりました。地域で知った顔が増えることで、一緒に暮らしていることを実感できるので安心にもつながります。一歩踏み出すことで見えてくることがあると思います。まずは無理なく楽しくやってみることが大切なのではないでしょうか。今後は活動を通じて、更に同世代の方々とも地域と一緒に触れあっていきたいと思っています。



1 きっかけは地域でのボランティア活動

定年退職する前までは職場と家との往復しかなかったため、退職のタイミングで地域との関わりを持ちたかったのがきっかけです。

2 オパール料理同好会を紹介される

都の広報でボランティアを募集していた野川公園清掃に参加していた際に、一緒に活動していた当時のオパール料理同好会会員の方に声をかけてもらいました。ボーイスカウトでの活動経験もあり、野外料理等時短料理が得意だったこともあります。職場とは関係のないところで仲間を作り、活動してみたかったので参加しました。

3 地域で活躍の場が広がる

自宅よりちょっと遠くの公園清掃から始まりましたが、そこでの出会いから20年という月日を楽しんで活動しています。参加していて『人とのつながりが楽しい』『自分が楽しい』というのが続いている理由と感じています。

オパール料理同好会は毎月1回(第4金曜日)活動中

20年目になるオパール料理同好会。名前の由来はオールドパワー。武藤さんがレシピを作成して、今回で通算229回目! 同じメニューで作ったことがないそうです。メンバーの年齢は、66歳~87歳と幅広く、グループに分かれてすべてのメニューをグループ内で作りあげます。

メンバーの方々にもお話をうかがいました

参加するきっかけは?

友人の紹介/別の料理教室等で知り合ってから声をかけてもらった/将来一人になった時のために/リタイアして自分の住んでいる地域で過ごす不安があり居場所作りのために 等

地域の情報はどこで知りましたか?

公民館/さわやかプラザ(あおぞら)/市報のけやきの木 等

同好会でのボランティア活動は?

同好会では希望園(障害者施設)で利用者の方と週1回一緒に料理をしたり、深田記念館(月1回)・児童福祉施設(週1回)の利用者へ食事をふるまっていたこともあります。料理以外にも、旅行や日帰り温泉で土地の料理を食し、勉強・研究しています。



武藤さんが作成したレシピ

メニュー

- 牛肉としめじのオイスターソース炒め
- 焼きなすの甘酢だれ
- 厚揚げの照り焼き
- 万能ねぎの卵とじスープ
- ごはん
- デザート(ブルー)



『ALL IS WELL. ENDS WELL.(うまくいけばすべてよし。)』

オパール料理同好会 体験OK 男性限定 年齢不問
会員募集 毎月第4金曜日・福祉センター調理室

無料の「専門相談」をご利用ください!

成年後見制度や遺言・相続・財産管理等の法律相談を無料でお受けします。

- 2日前までに要予約
- 出張相談も可能

場: 権利擁護センターこくぶんじ (日吉町3-29-24)

問: 042-580-0570

	開催日時
成年後見制度相談 (司法書士・社会福祉士)	毎月第2木曜日(12月14日、1月11日) 午後1時30分~4時30分(1件1時間)
ふくし法律相談 (弁護士)	11月30日(木)、12月21日(木)、1月25日(木) 午後1時30分~4時30分(1件1時間)

国分寺市ファミリー・サポート・センター

一時的な保育ができる方を紹介し、子育て家庭を支援しています。(この活動は有償活動です)

買物とか、美容院とか行きたいけど、忙しくてそんな時間取れないわ...少し手伝ってくれる人はいないかしら...

自分の時間が持てた分、子育てにも余裕がでさそう!

最近はお母さんの手伝いで私にも何かできることはないかしら...

あれなら、ファミリー・サポート・センターがあるわよ。相談してみたら?

はい、ファミリー・サポート・センターです!

あの、用事のあるときに保育をお願いできる方はいますか?

空いている時間で、お母さんの役に立ててよかったですわ。

利用会員登録は随時受付していますので、まずは一度センターへお越しください。

あら? 「援助会員講習会」? どんなことをするのかしら。興味はあるけど...一度電話して聞いてみましょう!

講習会を受けていただいた後、「援助会員」として、お子さんの保育をお願いしています。まず、講習会に参加してみませんか?

参加してみます!

受講後、「援助会員」として、地域の役にたつ活動がまわっています!

利用会員(育児を手伝って欲しい方)

▶ 会員になるには?

随時、会員登録できます。センターへご連絡ください。
対象：市内在住の生後57日から小学校6年生の保護者

▶ どんな時に頼めるの?

保育施設までの送迎やその前後の預かり
保護者の外出(美容院・買物・通院)
冠婚葬祭・求職活動時等の預かり
その他、詳しくはお問合わせください。
*活動時間 午前6時～午後10時
*病児病後児や家事は不可



援助会員(育児のお手伝いが出来る方)

▶ 会員になるには?

センター主催の援助会員講習会を受講後、援助会員登録ができます。
対象：20歳以上の心身ともに健康で、意欲的に育児のお手伝いが出来る方

*次回の援助会員講習会は11月20・21・22・27日の4日間です。



社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会

〒185-0003 東京都国分寺市戸倉4-14 国分寺市立福祉センター内
http://www.ko-shakyo.or.jp

● 総務係
TEL: 042-324-8311 FAX: 042-324-8722
開所時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
Email / info@ko-shakyo.or.jp

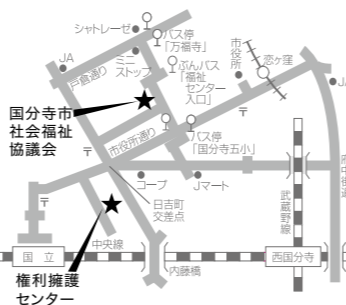
● 自立生活サポートセンターこくぶんじ
TEL: 042-324-8311 FAX: 042-324-8722
開所時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

● 国分寺市ファミリー・サポート・センター
TEL: 042-300-6061 FAX: 042-300-6062
開所時間 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時
国分寺市ファミサポ

権利擁護センター こくぶんじ

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町3-29-24
TEL: 042-580-0570 / FAX: 042-576-7081
開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
Email / soudan@ko-shakyo.or.jp

次回は2月15日(木) 発行予定です!



KOKUBUNJI VOLUNTARY ACTION CENTER NEWS

ボラセン 運営委員会 3年間の取組み

地域の皆さんに、ボラセンや地域の活動・思いを知ってもらいイベントを! という事で平成26年度より始まったボラセンの新イベント。これまでの3年間の活動を振り返ります。



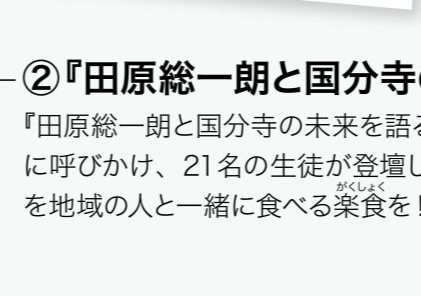
平成26年度



①『田原総一郎と国分寺の未来を語る』

田原総一郎さんを特別ゲストにお招きして開催。第1部を中学生・高校生によるトークセッションとし、「どんな場所が欲しいか」、「どんなことをしたいか」を話しました。第2部は大学生と大人によるトークセッション。各自が取組んでいる活動を踏まえ、「魅力あるまち」について話しました。どの年代の方も、自分たちの住んでいる国分寺市について熱い思いを持っていることが分かりました。

平成27年度



②『田原総一郎と国分寺の未来を語るII』

『田原総一郎と国分寺の未来を語るII～若者(わたしたち)が創る地域の絆～』では、市内全ての中学校・高校に呼びかけ、21名の生徒が登壇しました。「利用しやすい公民館にするにはどうしたらいい?」「中学校の給食を地域のひとと一緒に食べる業食を!」「国分寺市の名所として図書館が欲しい」等、活発な提案がありました。

平成28年度



③『田原総一郎と国分寺の未来を語る final』

集大成として『田原総一郎と国分寺の未来を語る final～中学生とつくる国分寺(このまち)の未来～』を開催しました。2年目より中高生の牽引役として活躍しているのが、東京経済大学ボランティアサークルCloverの皆さんです。大学生のお兄さん・お姉さんとともに、それぞれの学校が地域とどのような接点があるのか、実際に行っている活動を発展させるにはどうしたら良いか等、検討を重ね発表に至りました。「地域の方とともに中学校をきれいにするびかびかフェスティバル」や、「募金活動を行い国分寺市に世界遺産を」等、中学生ならではの自由な発想が魅力的でした。

まとめ

このイベントがきっかけで、1年目にご登壇いただいたムタヒロさんにフォローアップ講座でご協力いただいたり、当時中学2年生の登壇者が、高校生になりボランティアとして地域で活動をしたりと、少しずつ地域とのつながりができています。また、3年間のイベントを終えて、中学生の発表を聞いた方々からは、『中学生らしい発想が素晴らしい』『ぜひ今後も続けて意見を聞きたい』というお声をたくさんいただきました。そのお声を聞き、今年度はより身近で具体的な「防災・災害」をテーマに国分寺の未来を考えるシンポジウムを開催します。(詳しくは8Pをご覧ください。)



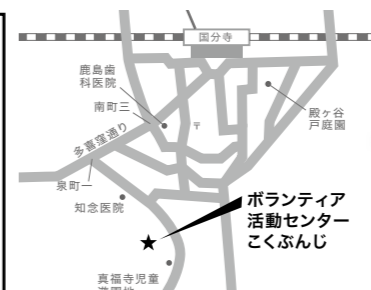
ボランティアセンター事業講座・イベントカレンダー

11月	12月	1月	2月
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者見守り講座 ▶ 地域交流会 (さつき会・あずま会・こいがくほ会) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 認知症サポーター養成講座 ▶ 地域交流会 (あずま会・いづみ会・ふれあい会) ▶ シンポジウム事前準備会 (きたこい会・むらさき会・すみれ会・ささの会) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域交流会 (さつき会・あずま会・こいがくほ会) ▶ きたこい会・むらさき会・すみれ会・ささの会 ▶ たちばな会・ふれあい会 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国分寺の未来を考えるシンポジウム

※詳細についてはお問合わせください。 ※予定は変更する場合があります。

ボランティア活動センター こくぶんじ

〒185-0022 東京都国分寺市東元町3-17-2
TEL: 042-300-6363 / FAX: 042-300-6365
開館時間 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時
Email / center@ko-shakyo.or.jp
ボランティア活動センター HP: http://www.ko-shakyo.or.jp/vc/
ボラセンブログ: http://blog.canpan.info/kokubunjvc/



イベント時にご活用ください!

地域福祉活動推進を目的に、各種備品の貸出しを行っています。無料貸出し対象は、ボラセン登録団体および社協の団体会員等。対象以外の団体は原則有料です。詳しくはお問合わせください。





ボランティア活動センター
こくぶんじ

ボランティア活動センター こくぶんじだより

KOKUBUNJI VOLUNTARY ACTION CENTER NEWS

インターネットで検索

こくぶんじ ボラセン



国分寺の未来を考える
シンポジウム

お待たせいたしました！新イベントのご案内です！

災害時のどうなる？どうする？を一緒に考えよう！

「地域のつながりがまちを守る～中学生とできること～」



木原実さん

そらジローの
防災グッズが
当たるゲーム
企画もあるよ！



協力
東京経済大学
ボランティア
サークル
「Clover」



日 平成30年2月10日(土)

午後1時～4時(受付午後12時30分～)

場 東京都立多摩図書館2階セミナールーム
(国分寺市泉町2-2-26)

内 市立中学校5校および早稲田実業学校中等部・東京経済大学ボランティ
アサークルCloverの発表&トークセッション※手話通訳あり

ゲスト：木原 実さん(気象予報士・お天気キャスター・防災士)

ファシリテーター：枝見 太郎さん((一財)富士福祉事業団理事長/ボランティア
活動センターこくぶんじ運営委員会委員長)

定 200名(先着順) 費 無料 対 興味のある方はどなたでも可

申 11月16日(木)より、①メール(専用フォーム/HPおよびブログに掲載)②電話(042-300-6363)③FAX(042-300-6365)のいずれかで
※FAXの場合は、①氏名(ふりがな)②年齢 ③性別 ④住所(町名まで可)⑤電話番号・FAX番号 ⑥何を見て知ったかを必ずご記入ください。
※メール・FAXで申込み後、1週間以内に返信が無い場合は、お手数ですが再度ご連絡ください。

【注意事項】▶本事業での都立多摩図書館の駐車場利用は有料となります。なお、駐車スペースも少ないので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

▶当日は、図書館を利用されている方もいらっしゃいます。受付時や待ち時間、休憩時間に廊下等で迷惑のかかるような行為をしないよう、ご協力ください。

主催：社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会 共催：一般財団法人 防災教育推進協会 後援：国分寺市・国分寺市教育委員会 協力：東京経済大学ボランティアサークル「Clover」・国分寺市立中学校・早稲田大学系属 早稲田実業学校中等部 企画・運営：ボランティア活動センターこくぶんじ/ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会

高齢者見守り講座

まだまだ間に合います！

これから地域でどのように高齢者を支えていくか、武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学
科教授 熊田博喜さんから地域の連携等のお話を伺います。ご参加お待ちしております。

日 11月23日(木・祝)午後2時～4時30分
場 東京都立多摩図書館2階セミナールーム(国分寺市泉町2-2-26)
内 第一部 講演 第二部 見守り訪問事業の説明
申 ボランティア活動センターこくぶんじ TEL：042-300-6363



認知症サポーター養成講座

最近よく耳にする『認知症』。誰にでも起こりうる脳の病気です。認知症になっても安心して共に暮らしていくために、まずは皆が認知症を正しく理解することが大切です。この講座は認知症を正しく知り、認知症の人やその家族を見守る応援者になるものです。サポーターになったら「何か特別なこと」をしなければいけないという事ではありません。認知症を知る第一歩を踏み出してみませんか。※講座修了者には、認知症サポーターの目印『オレンジリング』をお渡しします。



日 12月14日(木)午後1時50分～3時20分
場 社会福祉法人浴光会 特別養護老人ホームサンライト国分寺(国分寺市西町1-31-2)
申 事前申込み 国分寺地域包括支援センターひかり
TEL：042-573-4058

運営委員会ニュース

シンポジウム実施に向けて、着々と準備が進んでいます！

▶9月26日(火)

牽引役となる東京経済大学ボランティアサークル Clover 9名に、中学生の意見を引き出すためのコーチングの技術を学んでもらいました。寄り添って質問や確認を交えながら話を聞く等、実演を踏まえ熱心に取り組んでくれました。

▶10月8日(日)

登壇する中学生とCloverの顔合わせを兼ねた事前ワークショップを開催！一般財団法人 防災教育推進協会の濱口事務局長より、これまで起こった災害のこと等についてお話していただき、各々が感じたことを共有した後、発表テーマについて検討しました。

本番まで
あと3カ月です！
どうぞ皆さま
お楽しみに♪



「ボランティア活動センターこくぶんじ (ボラセン)」はボランティア活動や市民活動・まちづくりに関する総合の相談窓口・情報の発信・活動の拠点など様々な機能があり、ボランティアをしたい人(団体)として欲しい人(団体)をつなげる働き(コーディネート)をしています。

ボランティア活動センター
こくぶんじ